


令和六年度

岡山中学校 「A方式」 問題Ⅱ

【注意】

- この試験は、文章や資料を読んで、太字で書かれた課題に対して、答えやあなたの考えなどを書く試験です。課題ごとに、それぞれ指定された場所に書きましょう。
- 試験用紙は、表紙(この用紙)をのぞいて五枚^{まい}あります。指示があるまで、下の試験用紙を見てはいけません。
- 「始め」の合図があつてから、試験用紙の枚数を確かめ、五枚とも指定された場所に受験番号を記入しましょう。
- 試験用紙の枚数が足りなかったり、やぶれていたり、印刷のわるいところがあつたりした場合は、手をあげて先生に知らせましょう。
- 試験用紙の  ※ には、何も書いてはいけません。
- この試験の時間は、四十五分間です。

課題 1 次のⅠ・Ⅱはどちらも中野信子『バイアス社会』を生き延びる」からの文章です。これを読んで、(1)から(3)に
答えましょう。

著作権の関係上、現時点では掲載しておりません。

(4枚め)

受験
番号

(1)※

(2)※

(3)※

(4)※

3※

課題3 太郎さんと花子さんは、修学旅行について資料1～3を見ながら、先生を交えて話し合いました。あとの会話を読んで、(1)～(4)に答えましょう。

先生：資料1は、海外修学旅行を行った中学校と高等学校を対象に実施したアンケート調査に基づいてつくったものです。中学校と高等学校が訪問した国および地域の1位～5位をまとめています。また、資料2は、資料1の国および地域の位置を地図上に示したものです。そして、資料3は、2018年度と2019年度の月別の海外修学旅行を実施した学校数を棒グラフで表したものです。これらの資料から、どのようなことが読みとれますか。

太郎：資料1をみると、訪問した国の上位5カ国には、ヨーロッパやアフリカなどの国はありません。訪問した国は、地域区分だと **1** に属する国や地域が多いです。

(1) 会話文の **1** に入る語句を考えて書きましょう。

先生：確かにそうですね。どうして **1** に属する国や地域が多いのでしょうか。

花子：**1** に属する国以外の地域は、英語を中心に使っている国が多いです。修学旅行で訪れた国で、英語の勉強の成果を確かめようとしているのだろうということはなんとなく予想がつきます。

(2) **1** の国や地域が修学旅行先として選ばれるのはなぜですか。その理由として考えられることを、資料2を参考にして書きましょう。

太郎：資料3を見てください。2018年度に比べて、2019年度は3月の実施がとて少なくなっています。これはなぜですか。

先生：それは、2020～2022年度に海外修学旅行がほぼ行われなかったことと同じ理由がありますよ。よく考えてみましょう。

太郎：なるほど、わかりました。 **2** ですね。

(3) 会話文の **2** に入る会話文を考えて書きましょう。

(4) あなたが中学校や高等学校の海外修学旅行で訪れたい国（地域）を1つ書きましょう。さらに、その理由も書きましょう。ただし、会話文で触れられている内容以外の理由を書きましょう。

国 (地域)	
理由	

受験 番号	
----------	--

資料1 中学校・高等学校の海外修学旅行先（国および地域）

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
第1位	韓国	韓国	シンガポール	台湾	台湾	台湾	台湾	台湾	台湾
第2位	オーストラリア	オーストラリア	台湾	オーストラリア	シンガポール	オーストラリア	シンガポール	シンガポール	シンガポール
第3位	シンガポール	シンガポール	オーストラリア	シンガポール	オーストラリア	シンガポール	オーストラリア	マレーシア	マレーシア
第4位	マレーシア	マレーシア	マレーシア	グアム	マレーシア	ミクロネシア	マレーシア	オーストラリア	オーストラリア
第5位	中国	グアム	グアム	マレーシア	グアム	マレーシア	中国	アメリカ合衆国	ハワイ

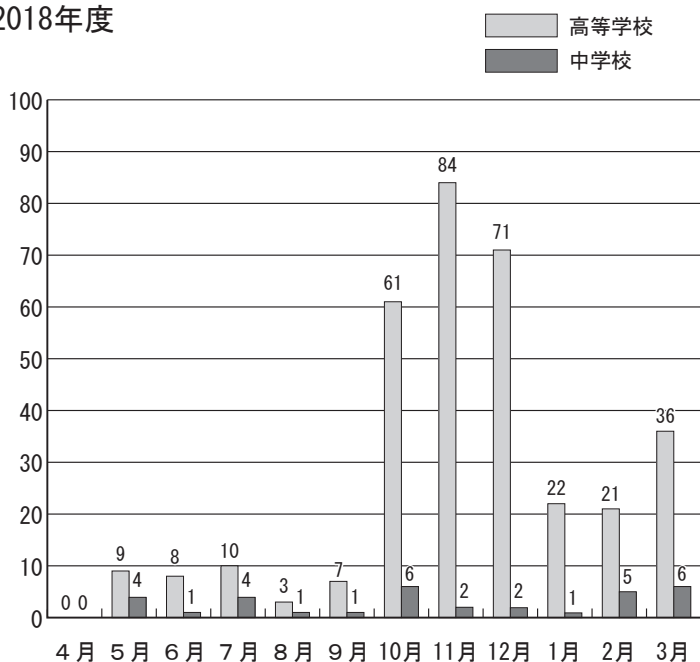
(『公益社団法人日本修学旅行協会』から作成)

資料2 資料1の海外修学旅行先数として1位～5位になった国および地域

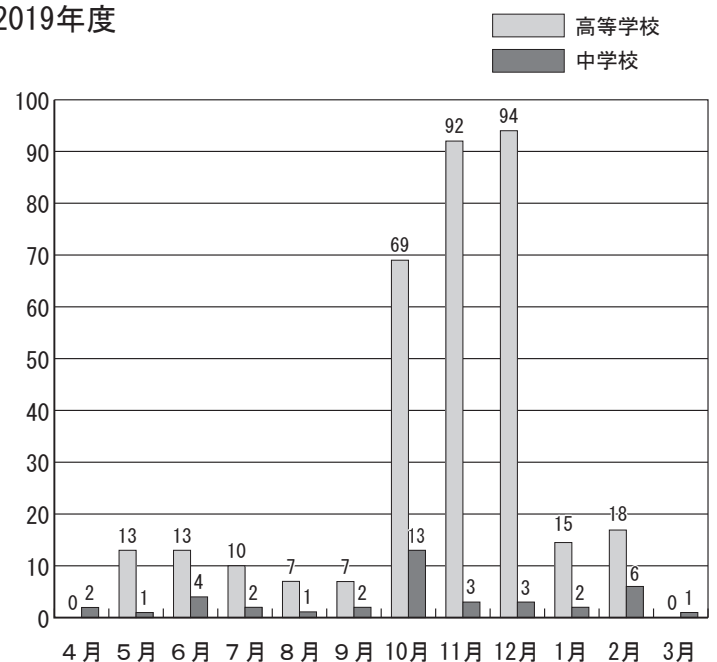


資料3 中学校・高等学校の海外修学旅行の実施月（件数）

2018年度



2019年度



(『教育旅行年報データブック2022』一部編集して作成)